

# 夏期一時金（ボーナス）6月30日支給

7月より育児部分休業、子育て部分休暇、介護時間等と時間単位年休の併用可能に

物価高騰のもとでの大幅賃上げ、安心して働き続けられる職場を！

5月26日、府労組連（大阪府関連労働組合連合会）は、「2023年度労組連夏季要求書」を提出しました。コロナ禍の中、異常な物価上昇が続くもと、すべての職員の生活改善につながる賃上げ、住民の命や暮らしを守り、子どもたちにゆきとどいた教育を保障するに相応しい労働条件の改善を求めて、折衝・交渉を重ねてきました。

6月19日、総務部長との団体交渉を行った結果、総務部長は府労組連に対する最終回答を行いました。

今季の闘争では、すべての職員の賃金引上げ、会計年度任用職員・非常勤講師等の待遇改善、再任用職員の賃金水準引き上げ、評価制度の賃金反映撤回、過労死ライン越えの異常な時間外勤務解消と業務量に見合った大幅な教職員増、子育て・介護のための特別休暇の拡充、子どもが不登校となった場合の休暇制度、安心して休暇の取れる職場環境（代替職員配置）などを強く求めました。

団体交渉の回答の中で、「人事委員会勧告は、労働基本権の代償措置であり尊重することが基本」との考え方を示さ

## 今季闘争のおもな最終回答

●夏期一時金（ボーナス）を6月30日に支給  
夏期一時金支給月数は次の通りです。

◆職員 2. 2月

◆再任用職員 1. 15月

◆新規採用職員 0. 66月

評価制度の給与反映のための原資として、全教職員の勤勉手当から一律に0.03月分と扶養手当分が差し引かれます。また、評価結果によって勤勉手当の支給率が変わります。

●育児部分休業、子育て部分休暇及び介護時間等と時間単位年休の併用取得を今年7月より可能とする

●子育て部分休暇の対象となる子の年齢引き上げについて他府県の状況等を踏まえ検討

れました。さらに「育児部分休業、子育て部分休暇及び介護時間等と時間単位年休の併用取得を今年7月より可能とする」「子育て部分休暇の対象となる子の年齢引き上げについて他府県の状況等を踏まえ検討」との回答が示されました。

## 子育てに関する制度では要求前進

今季の闘争では、すべての職員の賃金引上げ、会計年度任用職員・非常勤講師等の待遇改善、再任用職員の賃金水準引き上げ、評価制度の賃金反映撤回、過労死ライン越えの異常な時間外勤務解消と業務量に見合った大幅な教職員増、子育て・介護のための特別休暇の拡充、子どもが不登校となつた場合の休暇制度、安心して休暇の取れる職場環境（代替職員配置）などを強く求めました。

大阪府立障害児学校教職員組合 大阪市天王寺区 東高津町7-11 府教育会館704号 TEL 06-6765-8904 FAX 06-6765-8905

# 大障教ニュース

## 2023府労組連夏季闘争

大阪府立障害児学校教職員組合 大阪市天王寺区 東高津町7-11 府教育会館704号 TEL 06-6765-8904 FAX 06-6765-8905

**教職員を抜本的に増員し、長時間過密労働の解消を！**

今季の折衝・交渉では、教職員の異常な長時間労働の実態を示し、教職員の大額な増員など抜本的な改善を求めましたが、まともな回答が示されませんでした。人員増を含めた長時間労働の対策を早急にとるよう引き続き、とりくみを強化します。交渉の中で、大障教からは産育休代替講師の「前倒し任用」について、「妊娠者が安心して働くことができる制度」そして年度途中に講師が見つからない教員未配置を未然に防ぎ、職場全体の負担軽減となる制度であり、小中学部だけでなくすべての学部や職種に適用すること、期間を拡大すること」を強く訴えました。

## すべての教職員の大幅賃上げをめざそう

物価高騰が続くもとで教職員の生活が悪化している実態を示し、賃上げを行うよう再び、求めました。また、会計年度任用職員や非常勤講師の賃金が低すぎることについて指摘し、賃金水準の引き上げを求め、とりわけ非常勤講師の報酬については、人の確保の点からも時間数に応じて一時金の全員支給をはじめ、待遇改善を強く求めました。

## 職場要求を集約し、要求を実現しよう！

総務部長より示された最終回答は、若干の前進がありました。が、全体的には私たちが求めている切実な要求とは大きな隔たりがあり、極めて不満の残る内容です。今、府当局は「人事給与制度改革」を進めています。これに対し、評価育成制度の見直しも含めて、教職員のモチベーションの向上、過重労働の解消、働きやすい職場づくりを大前提として進めるべきと主張しました。引き続き、問題点や要求の集約を重ね、秋季年末闘争に向けたとりくみをすすめます。大障教は、大教組・府労組連に結集し、これらの実現に向けて引き続き全力で奮闘します。

大障教ホームページアドレス <http://fc06631220171211.web2.blks.jp/> Eメールアドレス : fushoukyou\_1@mtb.biglobe.ne.jp

書記局の  
ひとりごと

50年前の6月、漫画「ほだしのゲン」の連載が開始された。主人公の中岡ゲンは国民学校の2年生、作者の中沢さんは「（被爆當時）6歳だったぼくは、おこつたことをありのまま、フィルムのように脳裏に焼き付けました」と生前語っていた通り、自身の原爆による被爆体験の多くを基にした自伝的な作品である。兄と姉の影響で小学生の頃に初めて読んだが、原爆が投下され、爆風で学校や家が崩壊し顔に無数のガラスが突き刺さった人々、高熱で焼けて剥がれた皮膚を引きずって歩く人々等の描写に目を覆つたことを鮮明に覚えていて。私の平和問題の出発点となった漫画だ。

中沢さんは、本作品を戦中戦後の激動の時代を必死に生き抜こうとするゲンの姿を通して、「踏まれても踏まれても逞しい芽を出す麦になれ」という「生きること」への肯定の意味を込めて「人間愛」を最大のテーマとして描かれていた。しかし、広島市教育委員会の副教材「ひろしま平和ノート」（2013年発行、小学3年生向け）に掲載の「ほだしのゲン」が、広島市の平和教育プログラム改訂にあたり、「児童の生活実態に合わない」として今年度から削除され、別の被爆者体験談に差し替えとなつた。「戦争する国」づくりに加速する情勢のもとで、未来を担う子どもたちへの平和教育として、原爆投下の実相を描き、その非人道性を告発し、戦争の問題や核兵器廃絶を訴える教材を「見えない」のではなく、「見て何を感じるか」を語り考え合うことが必要ではないだろうか。原水爆禁止世界大会が広島・長崎で今年も8月に開催される。今一度、「ほだしのゲン」を読み返してみたい。

を教職員合意のもとに進めていない」「時間外勤務削減は本校教員の勤務実態に合っていない」と答いました。校長と何度も話し合いの場を設けて、校長から「現段階では、一斉定時退勤日の設定は本校教員の勤務実態に合っていない」

職場の取り組みでは、昨年度末に定時一斉退勤が府教委から降ろされてきて、役員会で議論し職場アンケートを実施しました。回収率は7割程度でその中の8割以上の教員が「一斉定時退勤日の設定で時間外勤務は減らない」と回答しました。

藤井寺支援分会は小・中・高の各学部から分会役員を出し週1回月曜日に役員会を実施しています。職場全体の問題、各学部の情報共有などを中心に話をしており、自分が所属する学部以外のことを知る貴重な機会です。

藤井寺支援分会は小・中・高の各学部から分会役員を出

し週1回月曜日に役員会を実施しています。職場全体の問題、各学部の情報共有などを

いく」「強制的な退勤指導を行わない」という回答を得ました。現在はコロナ感染症における職免廃止とともに在宅勤務（テレワーク）の運用に関する要望書を組合員・教職員の意見をもとに作成中で

職場の要求運動を粘り強くすすめていますが、分会活動の継続にさまざまな困難が生まれているのも事実です。これまで分会を引っ張つてこられた先輩方が退職され、職場

の多忙化も年々強まっています。大障教の会議の中で、分会活動のさまざまな工夫を知ることができます。藤井寺分会でもみんなで役割を分担し、助け合っていく活動をすすめたいと思います。

## 「一斉定時退勤」に関するアンケートに7割の教職員が回答

**藤井寺支援分会 東代議員**



## 東大阪市に知的障害支援学校の新設を実現しよう

**八尾支援分会 岩崎代議員**

取り組んでいます。

に加えて、近年では全校的な



あるお母さんが嘆いておられました。「うちの子はずつと不登校で、八尾支援の中学校に入り、3年生になって初めて友だち同士で映画に行けるようになった。ほんとうにうれしかった。けれど卒業したら、高等部では友だちと離れるようになつた。」

八尾支援分会は、東大阪の障がい児教育をよくする会とともに、長年、東大阪市に小・中高等部のある知的障害支援学校の建設を求める運動をすすめきました。学校新設の願いを実現するためには、運動の力が必要です。今年の5月から、保護者・教職員・市民団体が共同して署名運動に

取り組んでいます。

高齢部生徒の割合の低下によって、教員不足が深刻になって

います。昨年度比で児童生徒数は増えたにもかかわらず、教職員の定数を定める法律の仕組みによって、教員は7名も減少しました。私が所属する中学部では、教員不足のため3人担任のところを2人担任で回すクラスが3クラスになりました。1クラス6人の定員を超える、いわゆる圧縮学級のクラスも18クラス中17クラスです。府独自の緊急対策を求めていきましょ

う。

八尾支援では「過大・過密」

**大会役員のみなさん おつかれさまでした！**

**議事運営委員長**



光陽支援分会 佐々木代議員

**議長**



堺聴覚支援分会 堀江代議員

大手前分校分会 奥代議員

箕面支援分会 福川代議員

**書記**



四條畷校分会 門田代議員

中央聴覚支援分会 木村代議員

**女性部・青年部 交流企画☆**



**テイキャンプ**に行こう！

**日時：7月15日（土）  
11:00～16:00頃  
その後温泉へ**

**場所：能勢温泉キャンプ場**

BBQあり！温泉あり！  
楽しく交流しましょう！  
申込はQRコードから→

